

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	生涯学習推進体制の推進			総合計画コード	321
部名	生涯学習部	主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課部課コード	1201001
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	市民の学習ニーズに応えた学習や学習情報の提供及び活動の充実が図られ、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習環境が整っている。また、市民による自主的な活動が活発に行われるとともに、学習の中心となる人材の育成と活用が図られている。				
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議、生涯学習推進会議等を開催する。</li> <li>・第2次朝霞市生涯学習計画に基づき、生涯学習の推進を図る。</li> <li>・生涯学習ガイドブック「コンパス」の発行など、生涯学習情報を提供する。</li> <li>・生涯学習に関する講座等を企画、運営する団体に補助金を交付し、活動を支援する。</li> </ul>				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市教育振興基本計画	計画期間	H 25 年度	～ H 34 年度
		第2次朝霞市生涯学習計画後期基本計画		H 24 年度	～ H 28 年度
				H 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議を4回、生涯学習推進会議を2回開催し、市民アンケート、市民懇談会、パブリックコメント等を活用して市民の意見を聴きながら第3次生涯学習計画の検討を進め、予定どおり第3次生涯学習計画を策定した。また、上記会議を活用し、第2次生涯学習計画後期基本計画を推進した。</li> <li>・市民企画講座(1,455人)、生涯学習体験教室(775人)、家庭教育学級などの各種事業を実施し、生涯学習の啓発に努めた。</li> <li>・子ども大学あさか(1,196人)、放課後子ども教室等(1,541人)、親子陶芸教室(74人)等を地域の資源を活用しながら開催し、次代を担う子どもたちの育成に努めた。</li> </ul> <p>( )の数値は、各事業の延べ参加人数。</p>					
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	家庭教育学級において、防犯や防災をテーマに学習した。				
	子育てが しやすいまち	子ども大学あさかや放課後子ども教室を開催し、子どもたちの安心・安全な居場所づくりに努めた。				
	つながりのある 元気なまち	様々な生涯学習事業を展開し、市民の学びのネットワークづくりに努めた。				
	自然・環境に 恵まれたまち	市民企画講座や子ども大学で、郷土朝霞について考えるとともに、朝霞市の歴史・文化や自然に親しむ事業を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		42,023	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	後期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 生涯学習事業における満足度 (説明) 生涯学習に係る各種自主事 業における満足度	%	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0
		92.9	—	—	—	—
② (説明)			—	—	—	—

### 3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点)          ○ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点)  <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>二か年の継続事業で進めた第3次朝霞市生涯学習計画を策定した。          市民企画講座、生涯学習体験教室等の事業は、市民との協働で住民ニーズに沿った企画が実施でき、事業における満足度は概ね目標を達成した。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある  <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある  <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明)          自由時間の増大などの社会変化に伴い、心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大しており、これらの学習需要にこたえるための生涯学習の基盤を整備することは、学習者の自己実現のみならず、地域社会の活性化、高齢者の社会参加・青少年の健全育成など、地域全体の教育力の向上に必要不可欠である。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明)          第3次朝霞市生涯学習計画策定の際に実施した市民アンケートにおいて、「1年間に生涯学習活動を行った市民の割合」は前回調査に比べ1.6ポイント低下している。第3次計画では、前述の割合を40%以上とすることを指標と位置づけているので、施策を実施していく際にはいかにしてこの数値を上げる方策を立案するかが課題である。</p>

### 4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明)          平成29年度を初年度とする第3次朝霞市生涯学習計画の基本理念「一人一人が心豊かにともに学び 生きる まち あさか」に基づき、①いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる生涯学習社会の実現、②人と人をつなぐ生涯学習社会の実現、③知の循環型社会の実現を目指し、各種生涯学習施策を推進していく。</p>																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p><input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>第3次生涯学習計画では、生涯学習を進める上での基本方針の一つに「市民の主体性の尊重と協働による役割分担」と掲げ、生涯学習は学習者(市民)の自発的な意思で行うことが基本となり、行政は市民の主体的な学習行為を尊重し、サポートしていくとしている。市は、ニーズに応じた学習環境の整備に努め、市民の学びの支援を行っていく。</p>																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計 (単位:千円)</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1						2						3						4						5						計 (単位:千円)			—	—	—	<p><input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																						
	H27決算	H28決算見込																																												
1																																														
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
計 (単位:千円)			—	—	—																																									
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【外部評価委員会】          ・各種スポーツ団体、芸術文化団体の核となる指導者やリーダーの発掘と養成について、積極的に進めていってほしい。(つながりのある元気なまちに関する所見より抜粋)</p>																																													
<p>部長の意見</p>	<p>第3次生涯学習計画の策定に当たり、様々な団体の意見聴取や市民アンケートの分析などしっかり行い、時代にあった計画書が作成されたこと評価できる。今後も、市民一人ひとりの生涯学習活動が活発に行われるよう、関係機関、団体等と連携を図りながら、各施策を進めていくこと。</p>																																													

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	生涯学習推進体制の推進		総合計画コード	321	
部名	生涯学習部	主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課部課コード	1201001
関連部課名	—				

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
1	生涯学習啓発推進事業	16,036	14,185	4	3	現状のまま
2	成人式事業	6,700	6,040	3	3	現状のまま
3	生涯学習計画策定事業	10,698	8,059	4	4	H28で休止・廃止・終了
4	人権教育振興事業	5,257	4,851	4	3	現状のまま
5	学校開放講座開設事業	2,765	2,129	3	3	現状のまま
6	放課後子ども教室事業	5,553	6,759	3	3	現状のまま
7	生涯学習啓発推進事業	—	—	4	3	現状のまま
8	家庭教育推進事業	—	—	3	3	現状のまま
9	生涯学習啓発推進事業	—	—	4	3	現状のまま
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
	計 (単位:千円)	47,009	42,023	—	—	—

施策を  
構成する  
事務事業の  
次年度の  
方向性